

# 平成 30 年度 栽培管理表

管理番号 1801

記入日

2018年9月9日

生産者	木村 平	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾・松浦	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	<b>特別栽培</b>
栽培面積	180 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2017年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	37000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2017年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	34000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年3～5月	オリジナル配合674	80kg		2018年4月2～3日	オリジナル配合674	100kg	家の上・開墾
3～5月	モグラ堆肥A	100kg		4月7日	モグラ堆肥A	100kg	松浦
10～11月	オリジナル配合674	100kg		4月22日	オリジナル配合674	20kg	松浦
10～11月	モグラ堆肥A	100kg					
				4月9～12日	天恵緑汁	500倍/400L	農薬に混用、1回目
3～5月	天恵緑汁	500倍/300L		6月1～14日	天恵緑汁	500倍/500L	2回目散布
	以後、計画無し				以降、収穫終了後施肥予定		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 400L	2018年 4月9～12日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	400L
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		アピオンE	1000倍	
7月上旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	6月1～14日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	500L
	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍 500L		アプロードエースフロアブル	1000倍	
9月上旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 400L		モスピラン水溶剤	3000倍	
9月中旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 400L		アピオンE	1000倍	
9月下旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 300L	8月13～26日 混用散布	サンマイト水和剤	2000倍	500L
9月下旬	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 400L		アピオンE	1000倍	
4月～7月	展着剤	アピオンE (農薬混用予定)	1000倍				
	以後、計画無し				以後、散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬計画	5 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	6 回
				当作肥料実績	10 割減
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年は春先の気候が安定し、例年より芽だしが10日程早まりました。花芽も多く順調に生育していましたが、8月には例年以上の干ばつに見舞われ、玉肥大が鈍り全体的に小玉傾向となっています。また干ばつによる高温乾燥で、果実には日焼けや擦れ傷も見られるようです。ただ干ばつ傾向の年には糖度の上昇が促されるため、食味は良いのではないかと思います。



# 平成 30 年度 栽培 管理 表

管理番号 1803

記入日

2018年9月12日

生産者	大坪啓二	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の前・家の上・開こん	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	115 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2017年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	35000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2017年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	30000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年6月上旬	自家製ボカシ	600kg		2018年5月10～17日	自家製ボカシ	600kg	
10月下旬	自家製ボカシ	600kg					
	自家製ボカシ内容 シメジ粕 米ぬか 魚粉 蒸成骨粉 ヤシ灰				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2018年4月13～18日	デランフロアブル	1000倍 500L	
6月中旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍	5月19～22日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L		アビオンE	1000倍 500L	
6月下旬	殺菌	Zボルドー	400倍 500L	6月4～12日 混用散布	アプロード水和剤	1500倍	
	殺虫	アップロード水和剤	1000倍		ストロビードライブフロアブル	2000倍	
7月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライブフロアブル	2000倍		モスピラン水溶剤	2000倍	
	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 500L		アビオンE	1000倍 500L	
4～7月	展着剤	アビオンE	1000倍 500L	8月16～23日 混用散布	サンマイト水和剤	2000倍	
9月中旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L	9月中旬	アビオンE	1000倍 500L	
					イオウフロアブル	400倍 500L	
		以後、計画無し					
					以後、散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料実績	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作農薬計画	7 割減
		当作実績(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気候が安定し、例年より芽だしが10日程早まりました。花芽も多く順調に生育していましたが、8月には例年以上の干ばつに見舞われ、玉肥大が鈍り全体的に小玉傾向となっています。また干ばつによる高温乾燥で、果実には日焼けや擦れ傷も見られるようです。ただ干ばつ傾向の年には糖度の上昇が促されるため、食味は良いのではないかと思います。</p>

# 平成 30 年度 栽培管理表

管理番号 1804

記入日

2018年9月10日

生産者	中山信一郎	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	山田日平	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	55 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬～	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2017年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	19000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬～	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2017年12月中旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	15000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年4月上旬	モグラ堆肥A	180kg	東海マルタ	2018年4月2日	モグラ堆肥A	200kg	
11月下旬	モグラ堆肥A	180kg	東海マルタ				
5月～7月	パワーアミノ液肥1号	1000倍/600L	3～4回、葉面散布		以降、収穫終了まで施肥		
5月～7月	硫酸マグネシウム	500倍/600L	その他資材(微量要素)				
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年4月中旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	2018年 4月8日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	700L
	殺虫	ハーベストオイル	150倍		ハーベストオイル	150倍	
5月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍	5月5日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	700L
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		モスピランSL液剤	3000倍	
6月中旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍	6月1日 混用散布	アブロードエースフロアブル	1000倍	700L
	展着剤	アピオンE	1000倍		デランフロアブル	1000倍	
7月下旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	7月16日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	700L
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍		サンマイト水和剤	3000倍	
8月上旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍	9月3日 混用散布	ダニエモンフロアブル	4000倍	700L
8月上旬	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍		アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	
8月下旬	殺虫	ダニエモンフロアブル	4000倍				
9月上旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍		以後散布無し		
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0.3 kg/10a	当作肥料計画	9 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作肥料実績	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	11 回	当作農薬計画	5 削減
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	10 回
				当作農薬実績	5 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気候が安定し、例年より芽だしが10日程早まりました。花芽も多く順調に生育していましたが、8月には例年以上の干ばつに見舞われ、玉肥大が鈍り全体的に小玉傾向となっています。また干ばつによる高温乾燥で、果実には日焼けや擦れ傷も見られるようです。ただ干ばつ傾向の年には糖度の上昇が促されるため、食味は良いのではないかと思います。</p>

# 平成 30 年度 栽培 管理 表

管理番号 1805

記入日

2018年9月7日

生産者	嶋村利昭	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住 所	熊本県宇城市三角町	住 所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住 所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	津畦・古場	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	32 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2017年11月上旬～今期作収穫終了日(1年間)	5500kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2017年12月上旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	5000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年3月中旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	2018年3月17日	モグラ堆肥A	200kg	
11月～12月	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ				
5月～9月	ジューシーカル	800倍/500L	JA宇城 液肥		以降、収穫終了後施肥予定		
7月～8月	シリカ・ブロー	1000倍/500L	その他資材				
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年3月下旬	殺虫	ハーベストオイル	70倍 700L	2018年3月24日	ハーベストオイル	70倍 700L	
4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	4月12日	デランフロアブル	1000倍 500L	
5月中旬	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍	5月9日	モスピラン水溶剤	2000倍	
混用予定	殺菌	フロンサイド水和剤	1000倍 500L	混用散布	フロンサイド水和剤	1000倍 500L	
6月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	6月1日	ストロビードライフロアブル	2000倍	
混用予定	殺虫	アブロードフロアブル	1000倍 500L	混用散布	アブロードフロアブル	1000倍 500L	
6月下旬	殺虫	ハーベストオイル	150倍 700L	7月9日	ストロビードライフロアブル	2000倍	
7月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	混用散布	サンマイト水和剤	2000倍 500L	
混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 500L	8月7日	ストロビードライフロアブル	2000倍	
8月上旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	混用散布	パロックフロアブル	2000倍 500L	早生のみ 散布
混用予定	殺虫	パロックフロアブル	2000倍 500L				
					以後散布無し		
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量) 0 kg/10a	当作肥料計画 10 割減	当作実績(化学肥料使用量) 0 kg/10a	当作肥料実績 10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数) 9 回	当作農薬計画 5 割減	当作実績(化学合成農薬使用回数) 9 回	当作農薬実績 5 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気候が安定し、例年より芽だしが10日程早まりました。花芽も多く順調に生育していましたが、8月には例年以上の干ばつに見舞われ、玉肥大が鈍り全体的に小玉傾向となっています。また干ばつによる高温乾燥で、果実には日焼けや擦れ傷も見られるようです。ただ干ばつ傾向の年には糖度の上昇が促されるため、食味は良いのではないかと思います。</p>

# 平成 30 年度 栽培管理表

管理番号 1806

記入日

2018年9月9日

生産者	山口 洋子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	榑幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家上・家下	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	<b>特別栽培</b>
栽培面積	33 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2017年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	5800kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2017年12月中旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	5000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年4月上旬 混合予定	オール有機663	80kg	三成肥料	2018年 4月5～10日 混合予定	オール有機663	65kg	
	モグラ堆肥A	50kg	東海マルタ		モグラ堆肥A	45kg	
	東栄魚ぼかし2号	50kg	岩崎肥料		東栄魚ぼかし2号	40kg	
11月下旬 混合予定	オール有機663	100kg					
	モグラ堆肥A	50kg					
					以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2018年 4月8日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍		アピオンE	1000倍	500L
6月上旬 混用予定	殺虫	アプロード水和剤	1000倍	6月12～13日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 500L		アプロード水和剤	1000倍	
6月中旬	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍 500L		モスピラン水溶剤	2500倍	
6月中旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 500L		アピオンE	1000倍	500L
8月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	3000倍	7月24～27日 混用散布	サンマイト水和剤	2000倍	
	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 500L		ストロビードライフロアブル	2000倍	
9月上旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 500L		アピオンE	1000倍	500L
9月中旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L				
4月～9月	展着剤	アピオンE	1000倍 500L				
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠				
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	10 回	5 割減
当作肥料計画	10 割減	当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
当作農薬計画	5 割減	当作実績(化学合成農薬使用回数)	6 回	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年は春先の気候が安定し、例年より芽だしが10日程早まりました。花芽も多く順調に生育していましたが、8月には例年以上の干ばつに見舞われ、玉肥大が鈍り全体的に小玉傾向となっています。また干ばつによる高温乾燥で、果実には日焼けや擦れ傷も見られるようです。ただ干ばつ傾向の年には糖度の上昇が促されるため、食味は良いのではないかと考えます。

# 平成 30 年度 栽培 管理 表

管理番号 1807

記入日

2018年9月9日

生産者	吉田政美	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	高野・新地	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	80 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2017年10月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	8000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2017年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	7000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年3月上旬	自家製ボカシ	300kg		2018年3月10日	自家製ボカシ	300kg	
10月下旬	自家製ボカシ	100kg					
	自家製ボカシ内容 米ぬか 魚粕 モグラ堆肥A 糖蜜 乳酸菌 水				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 300L	2018年4月20日	デランフロアブル	1000倍 300L	
5月中旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	5月5日	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	
6月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	6月10日	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
7月中旬	殺虫	アブロードフロアブル	1000倍 300L	7月15日	アブロードフロアブル	1000倍 300L	
8月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	8月17日	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
9月中旬	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 300L	9月7日	サンマイト水和剤	3000倍 300L	
9月下旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 300L	9月中旬予定	イオウフロアブル	400倍 300L	
				9月中旬以降予定	サンマイト水和剤	2000倍 300L	
				9月20日以降散布予定	サンマイト水和剤	3000倍 300L	サビダニ発生時
	以後、計画無し						
					以後、農薬散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	7 回	当作農薬計画	6 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回
				当作肥料実績	10 割減
				当作農薬実績	6 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気候が安定し、例年より芽だしが10日程早まりました。花芽も多く順調に生育していましたが、8月には例年以上の干ばつに見舞われ、玉肥大が鈍り全体的に小玉傾向となっています。また干ばつによる高温乾燥で、果実には日焼けや擦れ傷も見られるようです。ただ干ばつ傾向の年には糖度の上昇が促されるため、食味は良いのではないかと考えます。</p>

# 平成 30 年度 栽培 管理 表

管理番号 1808

記入日

2018年9月11日

生産者	泉 カズ子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市不知火町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	大桜	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	30 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	11月上旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2017年12月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	8000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	11月上旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2017年12月下旬	出荷期間	11月上旬～12月下旬	7500kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年4月上旬	モグラ堆肥A	70kg	東海マルタ	2018年2月17日	炭酸苦土石灰	100kg	
4月上旬	オール有機663	110kg		4月5日 混合施肥	モグラ堆肥A	70kg	
5月下旬	オール有機663	70kg			オール有機663	120kg	
11月下旬	オール有機663	100kg		6月16日	オール有機663	70kg	
	以後、施肥計画無し				以降、収穫終了まで施肥無し		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年4月下旬	殺虫	オリオン水和剤40	1000倍 400L	2018年3月18日	ICボルドー66D	40倍 700L	
5月上旬 混用予定	殺虫	エクシレルSE	5000倍	5月14日 混用散布	フロンスサイド水和剤	2000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 600L		エクシレルSE	5000倍 600L	
6月上旬 混用予定	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍	6月7日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺菌	デランフロアブル	1000倍 700L		アプロードエースフロアブル	1000倍 650L	
7月上旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	1000倍	7月4日 混用散布	モスピラン水溶剤	3000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	1000倍 700L		ストロビードライフロアブル	2500倍 600L	
8月上旬 混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍	9月中旬 散布予定	サンマイト水和剤	3000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 600L		ストロビードライフロアブル	2500倍 600L	
		以後、計画なし			以後、農薬散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料実績	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	10 回	当作農薬計画	5 削減
		当作実績(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬実績	5 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気候が安定し、例年より芽だしが10日程早まりました。花芽も多く順調に生育していましたが、8月には例年以上の干ばつに見舞われ、玉肥大が鈍り全体的に小玉傾向となっています。また干ばつによる高温乾燥で、果実には日焼けや擦れ傷も見られるようです。ただ干ばつ傾向の年には糖度の上昇が促されるため、食味は良いのではないかと考えます。</p>